



自然体で暮らそう、
いっしょに。

FINE PLACE

2023 | 02
[ファインプレイス]

駆け抜けた30年。



昨年10月、『弥七』は新たにセントラルキッチン事業を開始。高度な調理システムを備えた作業棟をナルシマが建設しました。一方ナルシマは本社のリノベーションを進行中。それぞれの思いが、次世代に受け継がれようとしています。

業界は違っても、地域にかける熱い思いは同じ。

牛久市で『鮨と旬の味弥七』を経営する大将の佐藤渡さんと成島社長は、お互いに創業間もない頃から意気投合し、毎日朝まで飲み歩き熱く語り合った仲です。1999年、佐藤大将が意を決して構えた新店舗は、創業5年目のナルシマが建築を担当。若き経営者の夢を託して踏み出した、大きな一歩でした。そして幾多の厳しい時代を乗り越えた現在。『弥七』は創業32周年、ナルシマは創業30周年の大きな転機を迎えています。地元のために一所懸命、経営者としてベテランの域に達した2人が、今どんな夢に挑もうとしているのか。その思いを語り合いました。(続きは2ページへ)

